

2022 年度

神戸市外国語大学
魅力発信事業

For
Free

神戸発！ 場をつくる — Culture の芽を育てるために —

神戸市外国語大学は、神戸市を拠点に神戸、日本と海外とのつながりを 70 年以上にわたって育んできました。今年 2022 年の「魅力発信事業」のテーマは「神戸発！場をつくる—Culture の芽を育てるために—」です。人・自然・生業の調和の中で誰にとっても暮らし良い—そんなサステナブル・コミュニティとして成長する神戸の魅力を発見し、様々な取り組みを実践している若き神戸っ子たちの熱い想いに耳を傾けます。ポスト・コロナの新しい時代にむかって、人と人とがつながり合い、共に暮らすコミュニティ文化の種をまき、育んでいく—神戸で進行中の「場」づくりの今をお届けします。

全 5 講演 2022 年 7 月～2023 年 1 月 (各講演の詳細は裏面をご覧ください)

まちでいとなむ

2022
7/28
木



まちのおはなし

2022
11/24
木



まちなかこそだて

2023
1/26
木



まちにたねまき

2022
9/29
木



まちあそび

2022
12/22
木



申込みはこちら▼
(全講演無料)



時間 各日 14:30 ~ 16:00

予約 対面：先着 50 人

オンライン：定員なし

※オンライン参加者も事前申込が必要です。

場所 ANCHOR KOBE / アンカー神戸
神戸市中央区加納町 4 丁目 2 番 1 号
神戸三宮阪急ビル 15 階
(阪急神戸三宮駅直結)



©kobe city

【主催】
神戸市外国語大学
【後援】
神戸市 / 神戸新聞社

●神戸市外国語大学魅力発信事業とは

公立大学法人としての幅広い教育・社会貢献活動の一つであり、知と文化を発信する本学の重要な取り組みです。

活動資金としての寄付も広く募っています。詳しくはホームページをご覧ください。寄付に関する詳細はこちらから▶



まちでいとなむ

7/28

(木曜)

14:30-16:00



小泉 寛明

神戸からローカル地産地消経済をつくる

神戸R不動産、EAT LOCAL KOBE、ROKKONOMADなどの活動を通じて得た経験に基づき、エリアディベロップメントとローカル地産地消経済づくりを考えます。

【プロフィール】有限会社 Lusie (ルーシー) 代表 / 神戸R不動産ディレクター。カリフォルニア大学アーバイン校ソーシャルエコロジー学部都市計画修士卒。大手及びベンチャー不動産デベロッパーでの経験を経て、2010年「自転車10分圏内のエリアディベロップメント」を目指し、神戸で有限会社 Lusie をスタート。多岐にわたる事業を神戸で展開、ローカルエコノミー活性化の立役者として活躍中。

まちにたねまき

9/29

(木曜)

14:30-16:00



小泉 亜由美

まち、田畑、こころを耕し、たねを蒔こう！

毎週土曜開催の FARMERS MARKET をハブとして、「農」や「地産地消」をテーマにしたリアルショップや農業スクール、ワークショップ、民泊などの企画運営をしています。今回は「場」をキーワードにお話します。

【プロフィール】一般社団法人 KOBE FARMERS MARKET 理事 / 有限会社 Lusie 広報。EAT LOCAL KOBE の企画、ワークショップやツアー、スクールなどを通じて「分断された食を自分ごとにする」活動をしている。学生向けの農業スクールを学生と共に 2021 年設立。地域の農業・漁業、そして人を結び取り組みとして EAT LOCAL KOBE FARMERS MARKET を毎週土曜日に開催。場が生み出す可能性に日々挑戦している。

まちのおはなし

11/24

(木曜)

14:30-16:00



大橋 崇博

街の憩いの場所として

商売はお金を頂き商品を販売するのが基本。

でもそれだけでいいのでしょうか？ 街の本屋の日常をご紹介します。

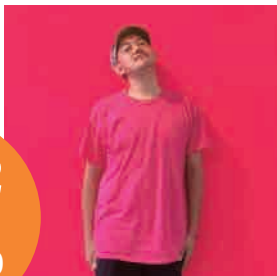
【プロフィール】流泉書房三代目店主。三宮センター街で祖父がはじめた書店は阪神大震災で倒壊、名古屋にて営業を続け、現在は垂水商店街で街の本屋を営む。小さな本屋ができることを模索し続けている。こどもによる絵本の読み聞かせ会、好きな本を持ちよる読書会を主催。また本の配達時に合わせて商店街の仲間がつくるお弁当やパン、おやつなども一緒に配達。元気を発信する拠点をめざしている。

まちあそび

12/22

(木曜)

14:30-16:00



森本 アリ

ちいさなまちのあそびかた

神戸の西、山が海に迫るちいさな谷間の町「塩屋」の長所も短所も個性として面白がり、あらゆる角度から町を楽しむ活動について、そして地域資源の維持、保存、そしてその積極的活用について、画像を紹介しながらお話しします。

【プロフィール】「旧グッゲンハイム邸」管理人 / 音楽家。1996年 Ecole de recherche graphique (ベルギー / ブリュッセル) 卒。神戸・塩屋の築110年の西洋館「旧グッゲンハイム邸」管理人として企業や行政とは一味違った管理運営を行う。音楽家としての活動は「三田村管打団？」他、多岐に渡る。神戸が世界に誇る知的障害者を含む大家族バンド「音遊びの会」主要メンバー。塩屋の町の未来を拓くシオヤプロジェクトを立ち上げ、写真集『塩屋百人百景』『塩屋百年百景』『塩屋借景』発行。著書に『旧グッゲンハイム邸物語 未来に生きる建築と、小さな町の豊かな暮らし』（ぴあ 2017）がある。

まちなかこそだて

1/26

(木曜)

14:30-16:00



佳山 奈央

子育て中のおとなの、まち・ひととの関わりを考える

大好きな仕事を手放したきっかけの1つである、神戸に住み・子育てをしながら大阪へ通勤していた会社員時代に感じていた違和感。そこから生まれた「おやこの世界をひろげるサードプレイス PORTO」の活動と、子育て、仕事、交友関係をひっくりかえす、生き方・暮らしについてお話しします。

【プロフィール】Laveiestbelle, Inc. おやこの世界をひろげるサードプレイス PORTO 代表。神戸市外国語大学英米学科卒。株式会社リクルートで住まいに関わる企画職を経て、2020年、神戸三宮に、保育士常駐の室内あそび場をコアに、一時保育やイベントなどを行うコミュニティスペース「おやこの世界をひろげるサードプレイス PORTO」を設立。「親をはじめとする、こどもに関わる大人の生き方の選択肢を増やすこと」をビジョンに掲げる。神戸市「神戸2025ビジョン推進会議」委員（2021年12月～）。大学在学中に休学・出産したシングルマザーで小5男子の母。法律・制度面からのアプローチを目指し、司法試験予備校でオンライン勉強中。